

女子教育と教育標本資料

— 短大家政学科被服構成研究室の資料を中心に —

10月3日(金) – 11月8日(土)

9:00 – 18:00 ※日曜日および11月3日(月・祝日) 休み

※前半(～10月21日)、後半(10月22日～) で一部展示替えを行います

青山学院大学 ジェンダー研究センターギャラリー

青山キャンパス スクーンメーカー記念館(旧女子短期大学図書館) 1階

青山学院女子短期大学の閉学にともない、家政学科被服構成研究室が所蔵していた教育標本資料は、青山学院資料センター(現 青山学院ミュージアム)に移管されました。

その中から以下の資料を展示します。

- | | |
|--------|---|
| 装束雛形 | 文献に忠実な織物の材料、色目、裁縫により、1/4サイズで製作された平安時代の服飾をまとった人形 |
| 裁縫雛形 | 実寸法の1/4～1/5の大きさを、裁縫教育のために製作された、和装、洋装、民族衣装などの見本 |
| 風俗解説掛図 | 古代から近代まで、様々な属性の人物の衣装風俗を描いた掛図と解説文 |

本展は、2024年10月～12月に武庫川女子大学附属総合ミュージアムで開催された展覧会の図録『女子学生は何を学んだのか — 教育標本資料に見る女子高等教育の黎明 —』を参考に、教育標本資料を用いる教育方法を取り入れてきた青山学院の女子教育をふりかえります。

主催：青山学院大学スクーンメーカー記念ジェンダー研究センター

協力：武庫川女子大学附属総合ミュージアム
青山学院ミュージアム



Aoyama Gakuin University
Schoonmaker Memorial Center for Gender Studies

